

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ピース可児		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年12月25日		2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者様が楽しく活動に取り組める内容を考えています。	・集団活動、自由活動では狭い空間でも安心して体を動かせるよう環境を整えています。また、個別活動では必要に応じて個室を使用し、集中して取り組めるようにしています。	・より集団活動や個別活動にじっくり取り組めるように活動時間を見直します。また個別活動については得意なことを見つけて、集中して取り組めるように環境を整えていきます。
2	・生活空間が利用者様にわかりやすく構造化された環境になっている。また必要に応じて利用者様が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。	・利用者様が活動などに取り組みやすい環境になるよう必要に応じて個別での関わりを作ったり、個別の部屋を設けて空間を区切って使用している。	・今後も利用者様が安心して過ごせる環境を意識して、環境調整や支援を行っていきます。
3	・相談しやすい環境。	・保護者様からのお子さまについての相談はもちろん、職員間でも報告・連絡・相談は密に行い、話しやすい環境を意識しています。	・伝えやすい・話しやすい環境を心がけ、これまでの支援や対応をより丁寧に行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動内容が固定化されることなく、ご利用者様に合わせ様々な活動内容を取り入れていく。	・ご利用者様の様子を見ながらプランを組み立てていますが、より一層活動の目的を保護者の方に伝えていくことや活動のバリエーションを増やしていくことが必要と考えています。	・アセスメント内容の共有を強化 ・個別配慮の方法・アイデアの抽出 ・支援の段階のモニタリング
2	・各職員のタスク状況を互いに理解する。	・ミーティングなどで業務の確認ができています。より細かく互いに把握していきたい。	・タスク状況の見える化 ・業務の効率化 ・職員の協力体制はできています。事業所の業務を職員全体が総合的に知っていく。
3	・集団・個別活動の時間の使い方に工夫が必要。	・低学年と高学年の下校時間の違いにより、活動時間に差が出てしまうことや、もう少しじっくりと取り組む時間を作ることも必要と思われます。	・個々の得意分野を見極め、得意なことを伸ばす取り組みを検討することが必要と思われます。また年齢に沿った活動や自立に向けた個々の取り組みなども検討していきたいと思えます。